

## &lt;全体分析&gt;

試験時間 2科目120分

## 解答形式

選択、記述、論述

## 分量・難易(前年比較)

分量(減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易(易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

小問数は昨年に比べて減少したが、論述量は増加した。

知識問題も考察問題も難易度は昨年とほとんど変わらなかった。

## 出題の特徴や昨年との変更点

知識問題、考察問題ともに難度の高い問題が出題される。

試験時間に対する問題量が多い。

## その他トピックス

昨年と一昨年は出題されていた描図形式の問題が出題されなかった。

## &lt;大問分析&gt;

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	記述 論述	進化 細胞 遺伝子	生物基礎 生物	問5 カドミウムとコバルトの輸送能力に関しては、分子TgX1と分子TgX2で差がないとしてもよいだろう。 問7 解答例に挙げた内容以外にも、根からの重金属の吸収を抑制すると、生育に必要な金属元素の吸収も抑制されてしまうことが知られている。	標準
II	記述 論述	代謝 進化	生物	問7 (E)の経路は、「還元的クエン酸回路」あるいは「逆クエン酸回路」と呼ばれる経路である。	標準
III	選択 記述 論述	生殖 発生 系統	生物	問1 ジャガイモなどの栄養生殖を解答してもよいだろう。 問5 緑色のヒドラ体内に共生藻を共生させているが、グリセロールで処理すると、この共生藻が失われることで白くなる。	やや易

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## &lt;学習対策&gt;

- 教科書レベルの基本的な知識を、正確に論述できるようにしておく。
- 実験考察問題の出題頻度が高いので、実験結果などを要点をまとめて論述する練習を重ねておく。
- 試験時間に対する問題量が多いので、問題演習を重ねて問題文の読み解きや解答作成の速度を上げておく。